

会議録

会議の名称	西東京市使用料等審議会 平成19年度 第7回会議
開催日時	平成20年2月7日（木曜日） 午後1時30分から午後2時30分まで
開催場所	田無庁舎3階庁議室
出席者	米田会長、宮本委員、川村委員、吉田委員 事務局：飯島企画政策課長、金子企画部主幹、岡本企画政策課主査、森谷企画政策課主査
議題	1 使用料・手数料等の適正化に関する基本方針の見直しについて 2 その他
会議資料の名称	資料1 使用料・手数料等の適正化に関する基本方針改定案 資料2 減免基準新旧比較表 資料3 26市文化・スポーツ施設減免に関する調査結果 概要
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>発言者名： 発言内容</p> <p>議題1 使用料・手数料等の適正化に関する基本方針の見直しについて ・配布資料に基づき、基本方針改定案の変更点、改正案に伴う減免基準の新旧比較表及び26市文化・スポーツ施設の減免状況に関する調査結果について説明した。</p> <p>質疑応答 議題1 使用料・手数料等の適正化に関する基本方針の見直しについて 委員：1つは、8ページで、区分2、4について概ね半々とすべきものといってしまうてよいか。また区分1で無料とあるがこういう形でよいか。というのは2と4は必ずしも半々ではない。とすれば括弧書きの負担割合をそのまま前にもってきたほうがわかりやすいのではないかと。2つ目として、10ページから施設使用料の減免について触れているが、資料3の減免の調査結果によれば、他市の状況をみると、高齢者や障害者については施設によって一部配慮がなされているものの原則減免はない。ただし特に考えなくてはならない場合、10ページや11ページにあるような形をさらに適用するというのも一つのやり方のような気がする。3つ目は受益者負担に関する基本的な考え方で、3ページの（3）でコスト削減に向けた内部努力とあるが、より市民の理解を得やすい形として、市はできるだけ原価を安くする努力をするという表現にしたほうがよいのではないかと。4つ目は、使用料を上げるからには、同時に市として市民の満足度を高めるために最大</p>	

限努力する、あるいは工夫するということを明示してはどうか。最後に、市民がコストと使用料の関係を理解するために、財政分析やコスト把握を的確に行い得るよう、職員的能力の育成を図る必要があると感じた。

事務局：1点目の公費負担の部分については、ご指摘のとおり修正したい。2点目の減免措置は例外的かつ政策的な措置だと考えている。コスト削減に向けた内部努力については修正案を考えたい。使用料の見直しだけでなく市民の満足度を高める方策についても考慮したい。

委員：適正価格の決定にあたり、ここにあるような立地条件、規模、老朽度合などの要因全てを検討していないのではないかと。表現を残すのであれば「参考に」とし、総合的に勘案し、最終的には市民生活への影響等を踏まえて決定するというところでよいのではないかと。「さらに」とあるので、具体的にやっているかのように感じてしまう。

委員：設置目的や性格は常に議論になっている。管理運営についても各担当課の考え方が出されている。施設の立地条件はある程度判断に入っている。そのように考えると、必ずしも審議会の議論の中でここに挙げられたような議論がなかったかといえどもそうでもないような気がする。行政としてはある程度表現は広いほうがいいということだが、市民の立場としてはどのような議論がなされたかということはある程度具体的に挙げてほしいという感じがする。その辺の兼ね合いをどうするかということである。

事務局：「考慮し」ということで必ずしも反映するものではないと思う。考慮した結果入れなかったということもある。要は市としてさまざまな要素を考慮しながら最終的な料金設定に結びつけたというような内容をここに記述している。より適切な表現があれば伺いたい。

委員：高齢者の減額については異論がないようなのでこの形とする。

事務局：今回の会議をもって改定案を出す。何か意見等があればお願いしたい。今後は行財政改革推進本部という部長級の会議に使用料等審議会の意見として説明し、庁内での議論を経て会長と調整した上で確定とさせていただきたい。

議題2 その他

事務局：今年度の使用料等審議会の会議は本日が最後となる。来年度は田無駅北側のアスタ市営駐車場の見直しについて検討していただく予定である。